

2021年4月2日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

神戸市が発行する神戸市SDGs債の引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、このたび、神戸市が発行する『神戸市SDGs債』の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、5年債及び30年債が発行されましたことをお知らせします。

神戸市は、2021年度から5か年の実施計画である『神戸2025ビジョン』に対し、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、SDGインパクト基準(事業向け)草案⁽¹⁾の基本的な考え方を踏まえ同ビジョンがSDGsの達成に資するという旨の第三者評価を取得し、今年度発行するすべての神戸市債を『神戸市SDGs債』⁽²⁾と銘打ち発行することとしています。

かかる取り組みは、特定のプロジェクト、事業に留まらず、SDGsの達成に向けた発行体自身の実施計画に対し第三者評価を取得したうえで、市場からの資金調達を行うものとなります。

当社は引き続き、環境や社会との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、SDGsの達成に資する債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本債券の概要)

名称	神戸市令和3年度第2回公募公債(5年) 神戸市令和3年度第3回公募公債(30年)	
年限	5年	30年
発行額	350億円	250億円
利率	0.010%	0.765%
発行日	2021年4月13日	2021年4月13日
償還日	2026年4月13日	2051年3月20日
取得格付	AA+(発行体格付け、R&I)	
主幹事	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券、大和証券、ゴールドマン・サックス証券	

- (1) SDGsに資する投資や事業を対象に、インパクトマネジメントを実際の事業や投資判断に織り込むため、既存の高レベルの原則やフレームワーク、タクソノミーなどに基づき、2020年10月に国連開発計画(UNDP)が公開したガイドライン。プライベートエクイティファンド向け、SDGs債向け、事業向けの3種類があり、事業向け基準の草案では、規模、地域、セクターを問わず、すべての事業に適用が可能。なお、今回、「神戸ビジョン2025」を対象になされたR&Iによる第三者評価は、事業向けを適用しています。
- (2) 従来の神戸市債と商品性は同一であり、国際資本市場協会(ICMA)の原則に準拠せず、特定のプロジェクト等に資金用途を限定しません。同ビジョンに示される事業と、SDGs債の発行により充当する事業についてすべてがリンクするものではありません。

以上